

令和3年度(第1回)認定  
免許状更新講習一覧(選択領域)「受講者が任意に選択して受講する領域」

開設者名	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	認定番号	電話番号	URL
開智国際大学	【選択】短時間で行う系統的実践 吹奏楽指導法	少子化やさまざまな事情で部員数が減少しているなか、吹奏楽の指導を短時間で系統的に行うために必要とされる基礎から応用、実践までの指導法を学びます。それぞれの人数に対応できる編曲法や合奏指導法、さらに短時間で効率的な初心者指導法は吹奏楽指導だけではなく、教科指導においても必要な指導技術を学ぶことができます。また、教科横断型授業の可能性についても取り上げる予定です。	石田 修一(教育学部准教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月9日	教諭	小学校教諭(担任)、小学校、中学校、高等学校の音楽専科教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500498号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】東アジアの歴史対立と教育実践—日韓問題を中心に—	現在、東アジアにおける歴史認識を巡る対立は厳しいものがある。和解をキーワードに、教育実践はこの問題はどうに迫っていくのか。日韓歴史認識問題を中心に、いま求められている視点や方法を考え、そのうえで教育実践として取り組む方法を受講者と共に考えたい。その際、いまのコロナウィルスの拡散によるパンデミックの状況のもとで示唆される日韓関係も視野に入れて皆さんと考えていきたい。	坂井 俊樹(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月9日	教諭	小学校、中学校、高等学校教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500499号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】理科授業の改善とスキル・アップ	新学習指導要領でねらいとする授業改善のために、アクティブラーニング「主体的・対話的で深い学び」の理科教育における具現化、問題解決型の学び、理科の見方・考え方について、講義だけではなく、観察・実験の活動やグループワーク、グループディスカッションを交えて講習を行い、指導者としてのスキルアップを図る。	千葉 秀一(教育学部専任講師)	東京都中央区	6時間	令和3年8月9日	教諭	小学校、中学校(理科)教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500500号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】「なぜ古典を教えるのか」～研究と教育の狭間に～	古典の授業は古典文法の指導に時間が費やされ、作品を読む所まで辿りつくことが難しい感があります。作品を読むには、近古代から今日までの注釈を見て内容を分析し理解する必要があります。当講座では、日本・中国古典文学(紀貫之・陶淵明)の研究に携わる教員が、具体的な作品の古注釈等を紹介しつつ「古典を読む」真のおもしろさについて論じます。その上で皆様と一緒に「なぜ古典を教えるのか」について考えたいと思います。	服部 一枝(教育学部教授) 三枝 秀子(教育学部准教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月12日	教諭	中学校・高等学校国語科教諭(小学校も可)	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500501号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】持続可能な社会に向けて「SDGsとESD」	SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、持続可能な社会に向けての17の目標と169のターゲットの国際目標である。ESD(Education for Sustainable Development:持続可能な開発のための教育)は、環境・経済・文化のバランスのとれた次世代も安心して暮らせる未来を目指し、行動する人を育て社会をつくるための学びあいである。持続可能な社会の実現に向けてSDGsとESDをもとに考える講義である。	富田 俊幸(教育学部准教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月12日	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500502号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】「つくる」視点での算数指導と教材研究	新指導要領の内容について、算数の学習過程を児童自身が問題解決の過程とし、算数の学習内容を拡張的かつ発展的に作り上げていく授業の構成を身につけます。受講者は各自1時間分の指導案に対応する部分の教科書の二ページとともに参加者人数分準備します。問題解決に基づく算数指導の講義の後、グループに分かれ各自準備した指導案についての討議・検討を行い発表します。また、講師はそれらについてコメントいたします。	島田 和昭(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月12日	教諭	小学校教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500503号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>

令和3年度(第1回)認定  
免許状更新講習一覧(選択領域)「受講者が任意に選択して受講する領域」

開設者名	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	認定番号	電話番号	URL
開智国際大学	【選択】初等科体育課程におけるネット対陣型ボール運動「ミニテニス」の導入について	現在初等科体育課程においては、卓球やバドミントン、テニス等の基礎となるラケット系スポーツ種目は含まれておらず、中学校からそれらの種目に触れることとなる。ラケットスポーツは巧緻性要素が高いため、導入段階としての基盤づくりが必要と考える。そこで、初等科体育課程におけるネット対陣型ボール運動「ミニテニス」の教材化を提案したい。なお、主として6学年を対象としているが、後半は中学・高校へ導入可能なプログラムも加える。	高橋 早苗(教育学部准教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月12日	教諭	小学校、中学校、高等学校教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500504号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】特別な教育的ニーズの理解と支援	教育現場で出会う「気になる子ども」に対する理解と配慮、及び指導・支援の在り方について考えます。新学習指導要領の内容を踏まえた子どもの発達への理解と指導・支援、及び特別な教育的ニーズの理解と指導・支援について、受講者と意見交換をしながら具体的な方策について検討します。子どもの学習上及び生活上の困難を中心に据えて、教員に求められる指導・支援の在り方を模索します。	寺本 妙子(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月13日	教諭	小学校・中学校・高校教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500505号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】子どもの哲学(哲学対話)を取り入れた学級経営と授業づくり	近年日本では、1970年代にアメリカで開発された「子どもの哲学(Philosophy for Children: P4C)」の方法論に基づく「哲学対話」の教育実践を取り入れる学校が、全国各地で少しずつ増えています。この講習では、学校法人・開智学園内の複数の学校の道徳科の授業で取り組まれている「哲学対話」の方法を体験を通して学ぶことによって、受講者が自らの学級経営や授業づくりの中で哲学対話の手法を取り入れられるようになることを目指します。	土屋 陽介(教育学部准教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月13日	教諭	小学校・中学校・高校教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500506号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】教科横断・探究型教育に向けて	教科横断・探究型教育の可能性を受講者と一緒に探っていきたいと思います。例えば、サンテグジュベリの作品『星の王子さま』を教材としてみましょ。背景にはフランス・アメリカなど複数の文化が介在しています。また「キツネ」も登場しますが、では日本の文学作品ではどうでしょうか。さまざまな側面を発展させながら異文化理解についての議論を深めていければと考えます。	佐々木 さよ(教育学部教授) 原田 操(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	令和3年8月13日	教諭	小学校・中学校・高校教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500507号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>
開智国際大学	【選択】教育における評価の役割について考える～教師と学校の専門性の向上をめざして～	2000年以降、学校教育の質の確保・向上のため、学校評価や教員評価といった政策が取られてきていますが、学校現場では様々な弊害も指摘されています。当講座では、その理論的・政策的背景や、実際の学校現場における具体的な実践事例を紹介しつつ、教師や学校の専門性の向上につながる評価の在り方について論じます。そのうえで、皆さまと一緒に「どのように評価をうまく活用するか」について考えたいと思います。	本学専任教員	東京都中央区	6時間	令和3年8月13日	教諭	小学校・中学校・高校教諭	6,000円	20人	令和3年2月16日～ 令和3年6月30日	令03-30134-500508号	04-7167-8655 (内線: 233)	<a href="http://www.kaichi.ac.jp/">http://www.kaichi.ac.jp/</a>